

平成31年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	柔軟な学びのシステムを活かした教育課程の編成を推進する。 生徒が主体的に学び、学力の定着が図れるような授業を実現するための研究を推進する。	①新学習指導要領の趣旨を踏まえた、新教育課程の編成を構築する。 ②生徒が主体的に学べるための授業研究を行う。 ・ICT機器等を活用することで、さらに分かりやすい授業の実現を目指す。	①学校目標を踏まえ、本校に相応しい新教育課程の編成を、教科横断的な視点を持ち、各教科との調整をはかる。 ②各教科を中心に、授業形態の研究を継続するとともに、教科を越えた授業互見をとおして、生徒が達成感をえられる授業を行う。 ・ICTを活用し、教員間で連携・共有を図りながら「わかる・できる」授業を目指すとともに、BYOD回線を活用した効果的な授業展開を実践する。	①各教科からの意見の集約と調整がはかれたか。 ②科目担当者間での充実した討議および教科を越えた情報交換ができたか。 ・ICTを活用した授業例や教材等を教員間で共有しながら授業改善ができたか。					
2 生徒指導・支援	多様な課題を抱える生徒に対応するため指導、支援体制の充実を図る。 学校行事を通して生徒の自己肯定感の向上を図る。	①外部の関係機関の人材と連携し、支援体制の充実を図る。 ・学校いじめ防止基本方針に基づく取組を徹底する。 ②生徒が主体的に活動し、自己肯定感が高められる環境づくりを進める。	①SCやSSWの存在の周知を図る。また、生徒に関する情報を迅速に収集し、必要に応じてSCやSSWにつなげる。 ・いじめの定義や基本認識について教員・生徒に周知徹底する。 ・いじめの原因につながるコミュニケーション能力の育成を図る。 ②学校行事などで生徒が主体的に活動できるような環境づくりをする。	①SCやSSWの存在を生徒に周知できたか。生徒の情報を収集し精査するシステムが構築できたか。 ・いじめの定義や基本認識について、共通の概念をもつことができたか。 ・ホームルールや集会等の機会を使って、コミュニケーションに関する取り組みをおこなうことができたか。 ②学校行事や委員会活動、部活動が生徒主体の運営となっていたか。					

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3	進路指導・支援	生徒一人ひとりが将来性、計画性を踏まえて自己実現ができる進路指導の充実を図る。	①多様な課題を抱える生徒に対応するキャリアサポート体制の充実を図る。	①年次段階に応じ、総合的にキャリア支援計画を企画実行する。 ・各年次で進路ガイダンス等を活用し、生徒一人ひとりの進路実現に向け支援する。 ・進路に関する情報を保護者に周知することで家庭との連携を深める。	①生徒の進路意識向上につながる取組ができたか。生徒一人ひとりの進路実現が達成できたか。進路カルテの活用度が増したか。 ・生徒の進路実現を支援するガイダンスを開催できたか。 ・進路に関する情報等を保護者と共有することができたか。					
4	地域等との協働	地域に理解され、信頼される活動を推進する。	①地域との連携を推進し地域貢献活動に積極的に取り組む。 ・防災活動について地域との協働を図る。 ②教育活動の情報発信の充実を図る。	①生徒会活動などを通して地域の小中学校等との連携活動を行い、生徒一人ひとりが社会の中での役割と責任を果たす機会を充実させる。 ・厚木市や近隣自治会と連携・協議して「避難所初動マニュアル」を整備する。 ②ホームページのCMS化への円滑な移行をするとともに、教育活動の目的や生徒の活動の様子を発信し、本校への理解度を図る。	①地域の小中学校等との連携活動を増やし、内容を充実させることができたか。 ・厚木市や近隣自治会と連携・協議をして「避難所初動マニュアル」を整備できたか。 ②ホームページのCMS化への円滑な移行ができたか。また、情報提供の媒体として、活用度が向上し、見やすさが改善されたか。					
5	学校管理 学校運営	安全・安心な学校づくりのために三課程が連携して教育活動を展開する。 フレキシブルスクールとして三課程の情報共有を推進する。	①学校運営マニュアル等の内容の充実を図る。 ・三課程で連携実施する防災訓練を発展させる。 ②ICT機器の利活用により、学校運営の円滑化をさらに推進する。	①安全安心な学校に向けた管理計画の内容充実と周知を図る。 ・三課程が協力して、教員主導でなく生徒主体の実践的な防災訓練を計画し、実施する。 ②ICT機器の利活用を一層勧めるための研修を実施し、教職員のスキルアップをはかる。	①学校運営マニュアル等の内容の充実を図れたか。 ・実施要項に基づき、生徒主体の三課程合同の防災訓練が実施できたか。 ②研修会の内容や、その後の教職員の利活用状況に変化が見られたか。					